

ネイチャーポジティブな地域社会 への展開に向けた取り組み： 新潟県佐渡市の事例

佐渡市 農林水産部・部長 中川克典

新潟大学 佐渡自然共生科学センター・教授 豊田光世



トキとの共生に取り組んできた佐渡



トキ (*Nipponia Nippon*)

1970	本州最後のトキを捕獲
1981	日本最後の野生下のトキ 5羽を捕獲
1999	中国からペア贈呈 人工繁殖成功
2003	純日本産トキ絶滅
2008	佐渡で第1回放鳥
2012	野生下で36年ぶりのトキ誕生
2019	野生絶滅→絶滅危惧ⅠA類
2026	絶滅危惧ⅠA類→絶滅危惧ⅠB類

野生絶滅

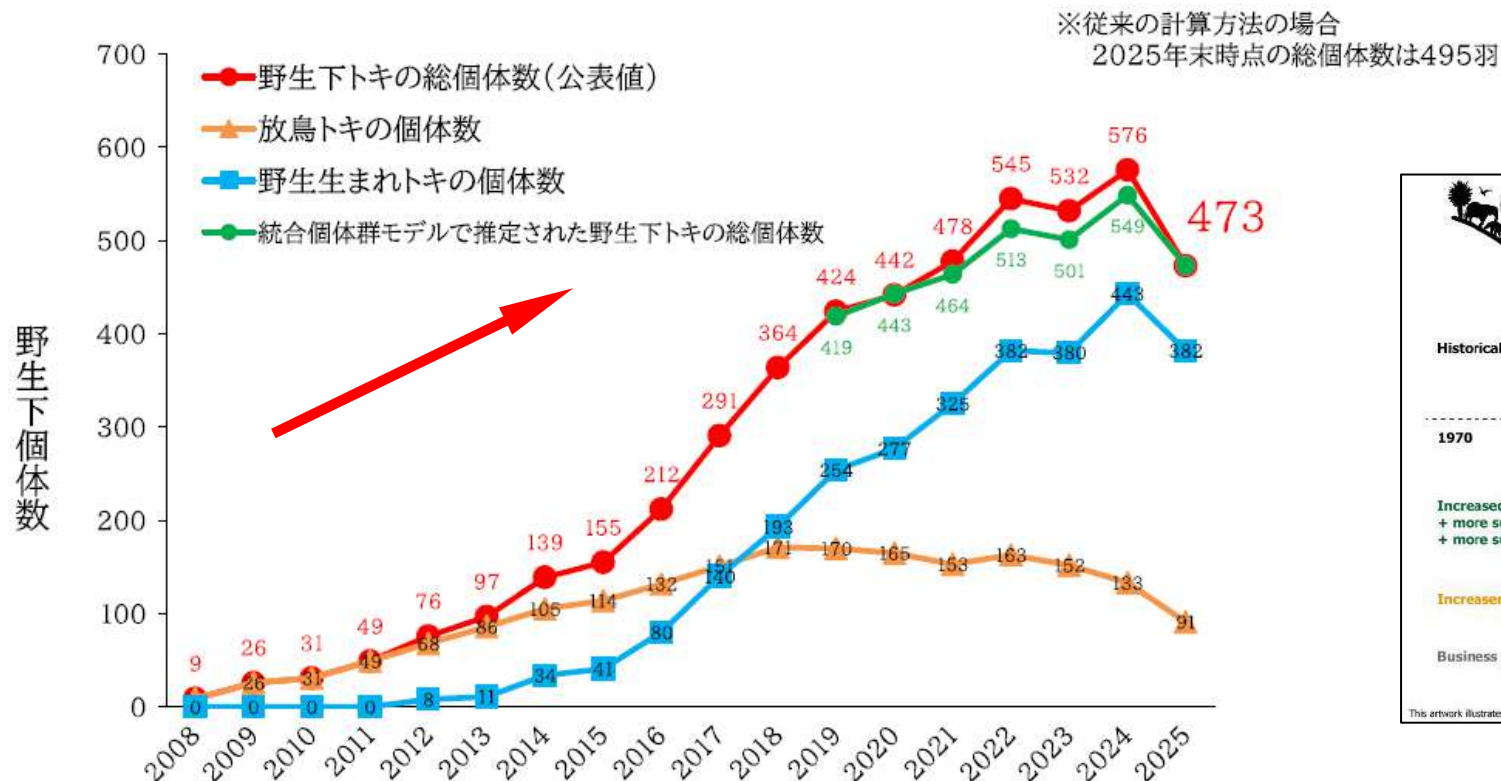
種の保全
の成果

佐渡島内の野生下トキ生息数



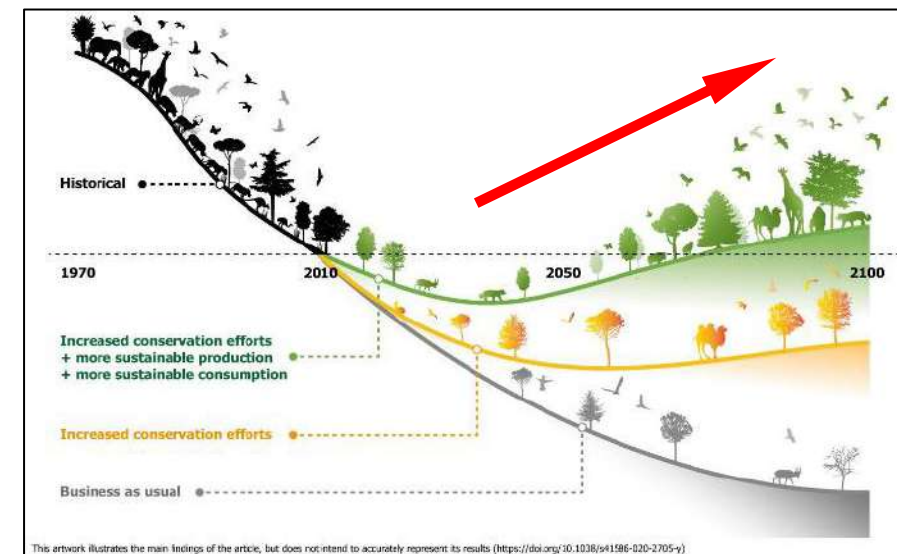
※2018年以前は実測値

※2019年は10/23時点。2020年・2021年は9/29時点。2019～2021年以外は12月31日時点



※環境省：第28回トキ野生復帰検討会資料より

近年は、おおむね500羽程度を維持



生きものを育む米づくり

朱鷺と暮らす郷づくり認証制度 (2007～)



- 佐渡で栽培されたお米であること
- 「生きものを育む農法」により栽培
- 生きもの調査を年2回実施（6月・8月）
- 農薬・化学肥料を削減した栽培（慣行比5割以上減）



ふゆみずたんぼ

魚道の設置

無農薬無化学肥料栽培



生きものを育む農法

田んぼやその周辺に生きものが
生息できる環境を作る

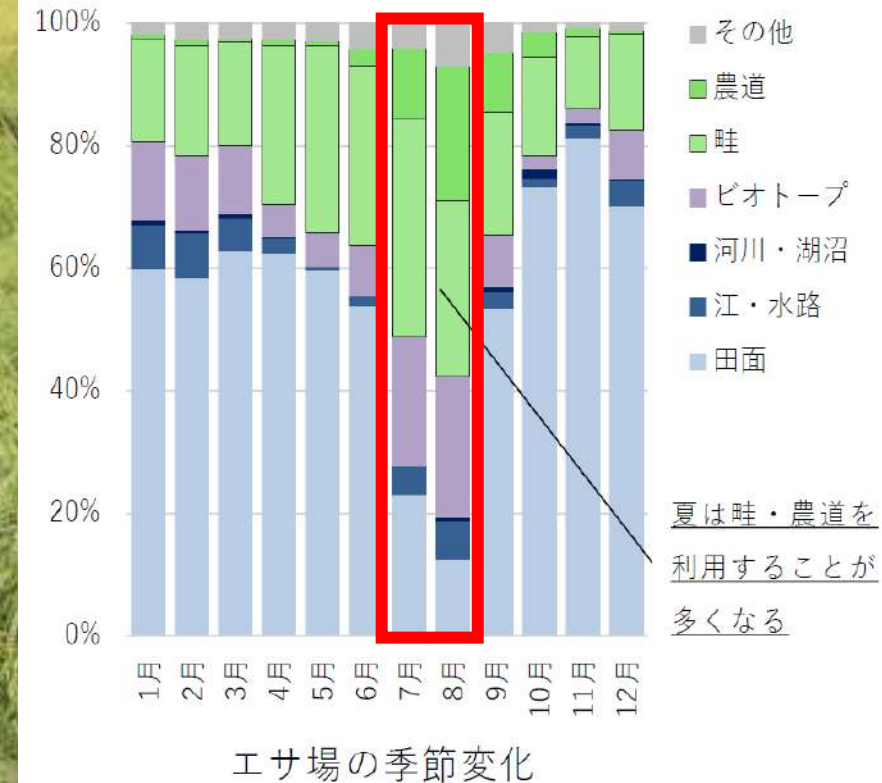
江の設置

ビオトープの設置

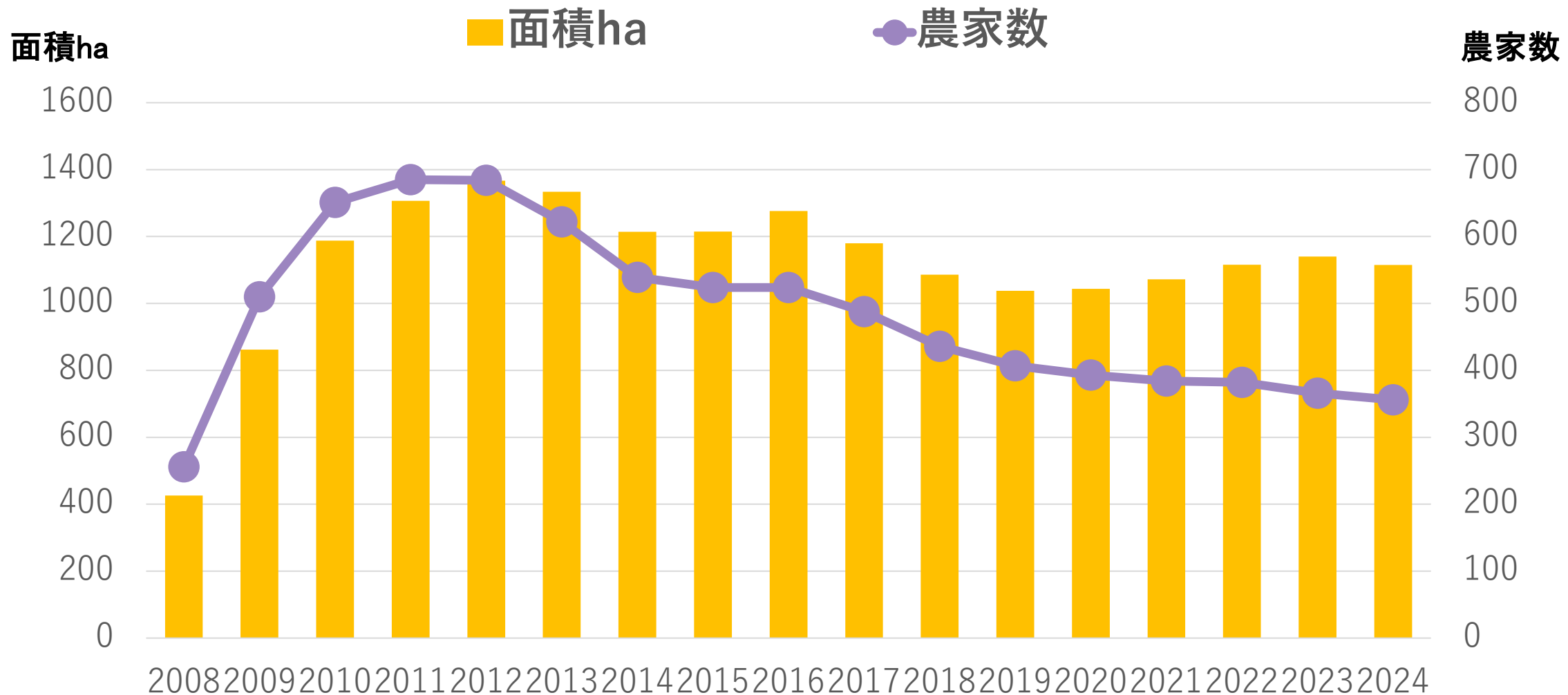
朱鷺認証米制度を次のステップへ (2017~)



ネオニコチノイド系農薬不使用と 畦畔の機械除草の徹底（除草剤不使用）



主食用水稲に対する認証制度の割合



佐渡トキ応援お米プロジェクト



寄付総額は4,000万円を超え、更に生物多様性への理解が深まる

佐渡Kids生きものの調査隊 (2008～)



“Kids生きものの調査隊”が生きものにやさしい米づくりから販売まで学習します。

佐渡Kids 生きものの調査隊

生きものにやさしい米づくりから販売まで学習します。

2026年4/24日 〆切

生きものの調査隊について

生きものにやさしい米づくりから販売まで学習します。調査が完了したら、お米・生きものについて学ぶ！楽しいプログラムです。参加費は無料です。お米・生きものについて学ぶ！楽しいプログラムです。参加費は無料です。

募集

参加費 無料
定員 40名
対象 小学1年～6年生
〆切 4月24日(金)
毎朝を通して活動することが参加条件となります。

申込

申込先 佐渡市・株式会社naco「イケベ」
生きもの調査隊 / もじかん 上之山 麗人

活動内容

活動場所 佐渡市 佐和田町
4/26 〇 入隊式・お米の歴史・生きもの調査
5/31 〇 田植え・生きもの調査
6/21 〇 田植えの準備・生きもの調査
6/21 〇 田植えの準備・生きもの調査
10/24 〇 稲刈り・生きもの調査
11/22 〇 収穫祭・お米販売準備
12月 〇 お米販売
お米販売・お米販売



無農薬無化学肥料米を保育園・小中学校で導入



保育園・学校給食への有機食材を試験的に導入開始
生産農家が直接子どもたちに話をします。



“ファーストおかゆ” 人生最初の一口を「朱鷺認証米」で



佐渡で生まれた子どもの初めての離乳食用として、無農薬無化学肥料の「朱鷺と暮らす郷」をプレゼント



「朱鷺と暮らす郷」認証米ほ場を「自然共生サイト」に



「朱鷺と暮らす郷」認証米ほ場約1,000haを環境省認定「自然共生サイト」へ ※2027年度申請予定
日本最大の農地系「自然共生サイト」として、30by30目標に貢献します！



「自然共生サイト」概要

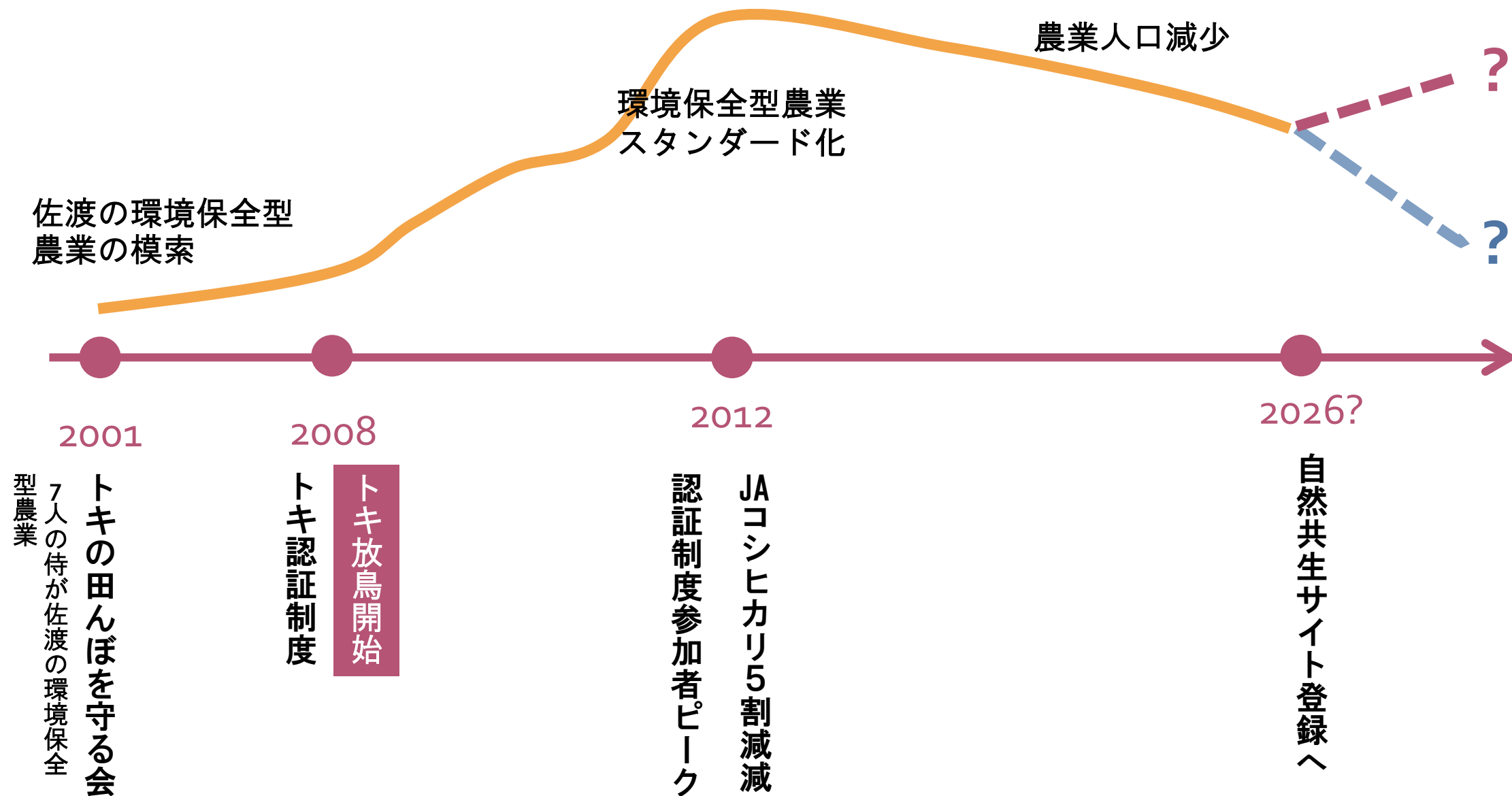
民間や自治体等の取組によって生物多様性の保全が図られている区域を環境省が認定する制度。OECMとして国際データベースに登録。

認定のメリット

- ・「朱鷺と暮らす郷認証米」の社会的評価の向上
- ・企業による経済的・人的支援（ESG投資、TNFDへの取組の評価）



環境保全型農業のトランジション



環境保全型農業のトランジション



農業人口減少

環境保全型農業
スタンダード化

今後の農業に影響を及ぼすファクター

佐渡の環境保全型
農業の模索

✓ 農業人口の急速な減少

✓ 米価の変動

✓ 温暖化の進行

✓ 新しい農法（ドローン活用, 直播）の普及

2001

2005

2012

2026?

型農業
7人の侍が佐渡の環境保全

トキの田んぼを守る会

トキ認証制度

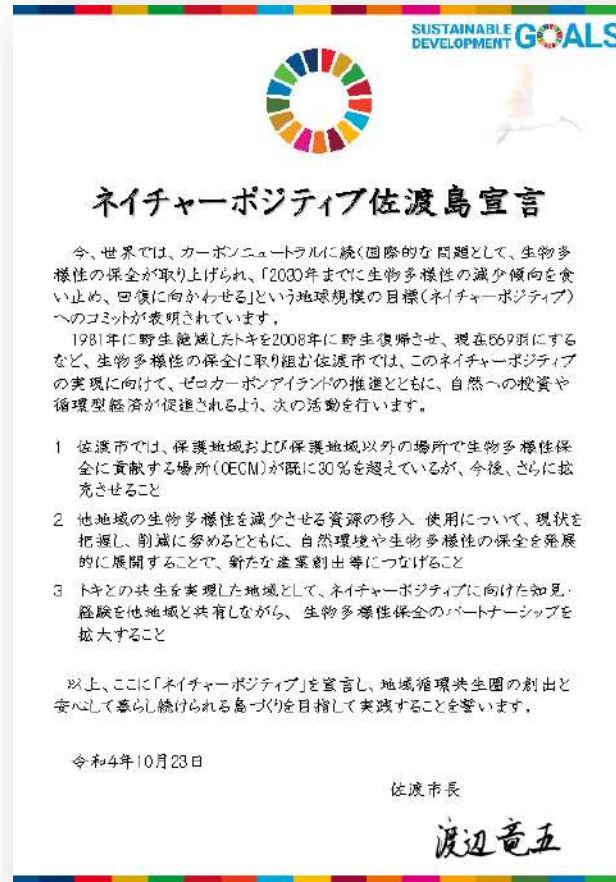
トキ放鳥開始

認証制度参加者ピーク

JAコシヒカリ5割減減

自然共生サイト登録へ

新たな試みの模索と展開



自然共生のこれまでの成果を活かしつつ、取り組みをさらに拡大させていくためには？
戦略には、**自然のポテンシャルを生かした地域経済の活性化**が掲げられているが、
具体的な選択肢やプランをこれから見出していく必要がある。

共創プラットフォームの構築でenabling environmentを醸成する



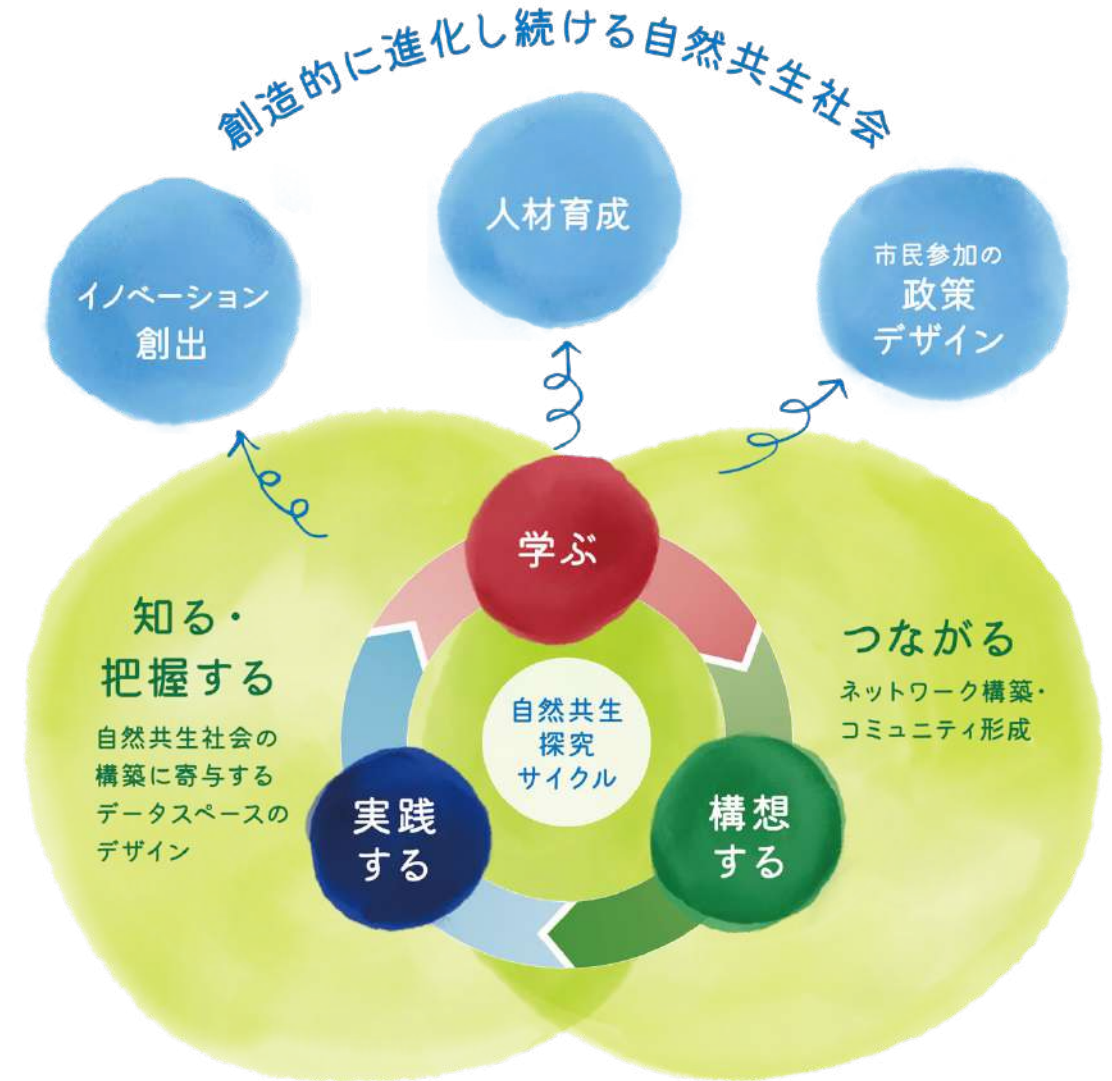
佐渡島
自然共生
ラボ

2022年11月
スタート

自然共生のアクションの次の一手を
多様な主体の参画のもと考えるための
産官学民連携プラットフォーム



- ✓ 佐渡のポテンシャル（自然資本）を生かした産業の発展
- ✓ 循環型社会の醸成
- ✓ 豊かさが実感できる地域社会の実現



多彩な観点から自然共生の未来を模索

ラボが展開する プロジェクトの例

環境活動×観光のしくみづくり

ミテモ、佐渡観光交流機構、佐渡市、
NTTデータ、新潟大学ほか

- ✓ 環境活動の観光資源化
- ✓ 自然共生を核とした交流人口の拡大



エシカル生産・消費の拡大

島とりどり、しまふうみ、マッテラート
NTTデータ、NTTデータ経営研究所ほか

- ✓ エシカルな生産物普及のための地域商社の設立・運営



自然共生シナリオづくり

IGES、新潟大学、名古屋大学、森林総研ほか

- ✓ 異分野融合の学術研究
- ✓ 生物多様性保全と脱温暖化のシナジー
- ✓ シナリオにもとづく政策提案

海藻の新たな可能性の探究

佐渡潜水、佐渡市、新潟県
佐渡総合高等学校、新潟大学ほか

- ✓ 海藻食の普及活動
- ✓ 未利用海藻の活用方法の検討
- ✓ 安定的生産のための技術開発



海藻

観光

エシカル

シナリオ

政策

竹

森林

竹資源の活用可能性の探究

佐渡市、福岡大学、竹イノベーション
研究会、近藤組、キンちゃん本舗、
NTTデータほか

- ✓ 竹を使った舗装材の実証実験
- ✓ 竹活用の勉強会の開催
- ✓ 佐渡らしい竹の活用方法の検討



森林資源の可視化

佐渡市、NTTデータ、新潟大学
佐渡市地域林政アドバイザーほか

- ✓ 自然資源の循環を検討するためのデータの収集と可視化
- ✓ 森林資源ポテンシャルマップ

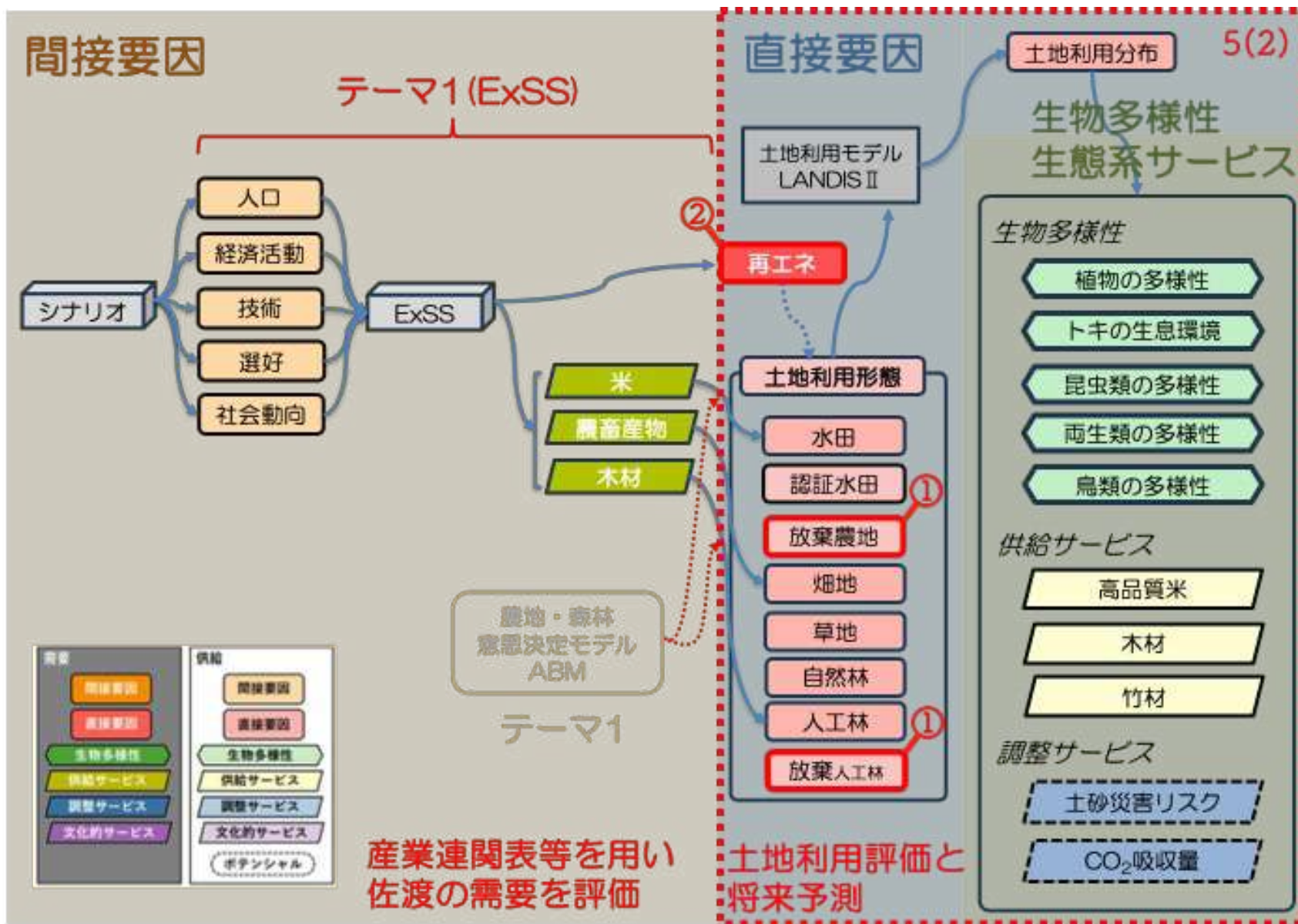


新たな生物多様性佐渡戦略づくり

佐渡市、サンワコン、新潟大学、徳島大学、東京大学

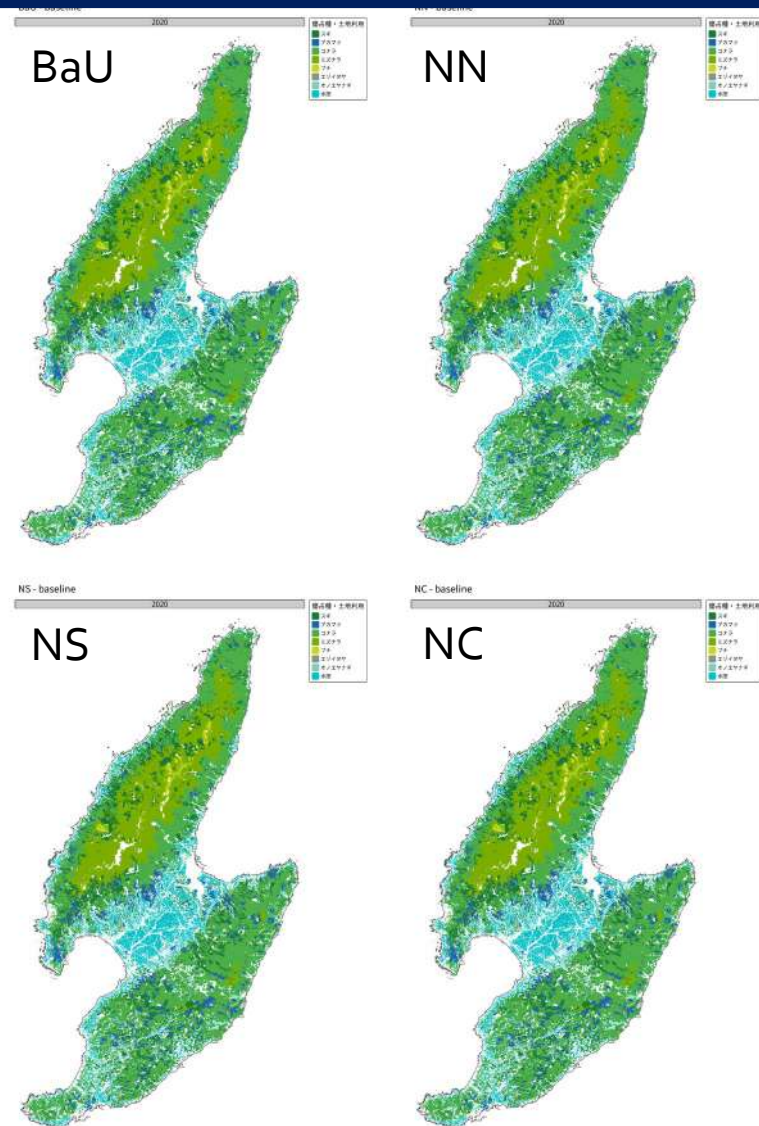
- ✓ 多様なステークホルダーが機動的につながる市民参加の政策デザイン

S21研究の展開① 佐渡島の生態系サービス統合評価

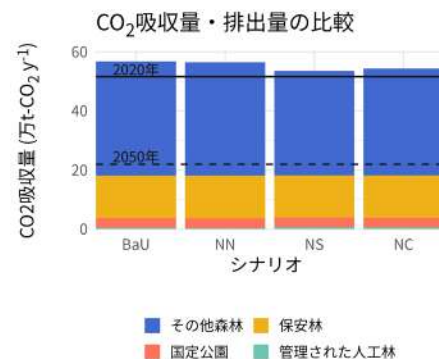


S21研究の展開② シナリオごとの生物多様性影響評価

シナリオ別に土地利用・被覆が変化

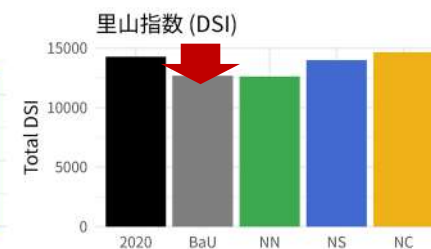
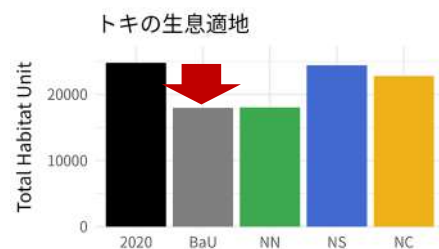
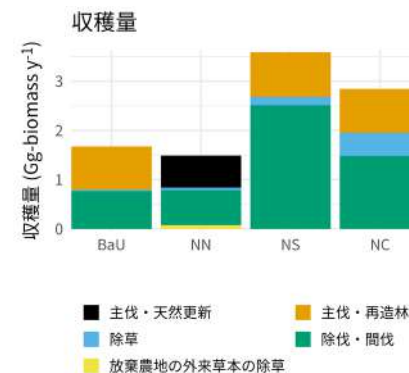
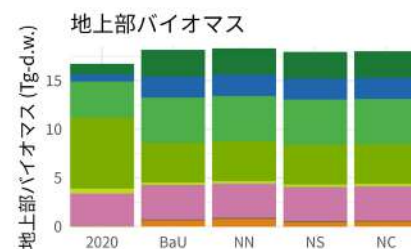


生物多様性・生態系サービスが変化



Key Points:
2050年頃には排出量と吸収量が同程度
シナリオの差は生物多様性・生態系サービス

- 放棄農地が増加する BaU:
生物多様性指標が劣化
- 放棄地の広葉樹林化をすすめる NN:
CO₂ 吸収量が微増 / 生物多様性は劣化
- 一次産業が高い水準で維持される NS:
トキの生息適地・収穫量が最も良い
- 放棄農地を湿地に再生する NC:
トキの生息地・里山的土地利用が保全



多様なアクターをつなぎ共創を誘発する「自然共生のみらい会議」

第3回 みんなで創ろう、いのち賑わう島の未来！

自然共生のみらい会議

自然共生をめぐる50の試み

佐渡島で自然環境の保全や自然資源の活用に取り組む島内外の人びとが一堂に会して情報交換を行います。

2026. 6/27(土) あいぽーと佐渡

参加無料

13:00～ トークセッション

第一部 トキとの共生に取り組んできた方々の思いを聞き、佐渡のこれからを考えよう

ゲスト



高野毅さん

生機自然を守る会 会長



齋藤真一郎さん

農業生産法人有恩社 代表取締役



仲川純子さん

NPO法人トキとき産園 理事長



佐々木邦基さん

JIA佐渡 自然数値研究会 会長

モデレーター：笹嶋紘平さん(環境省)、豊田光世(新潟大学)

14:10～ 1分間プレゼン

第二部 市民・企業・研究者・行政機関が登場 50の取り組みを一挙紹介！

15:20～ テーマ別ワークショップ

第三部 循環、エネルギー、生き物など、テーマに分かれて情報交換＆対話

ゲストコメンテーター：森本英香さん(元環境事務次官、佐渡市総合戦略アドバイザー)



参加申込

左記QRコードまたは以下のサイトからお申し込みください。

<https://forms.microsoft.com/r/p4pKWKKWTR>

【お問合せ先】tel.0259-22-3885

(新潟大学 佐渡自然共生科学センター内/相馬 寛野、豊田)

sadolab@sharedmail.niigata-u.ac.jp

関連イベント

6/28 自然共生体験ツアー

佐渡島内の自然共生の取り組みを学ぶ3つの体験ツアー。ぜひご参加ください！

企画・運営：佐渡ヶ島美育人材育成事業TOKtoWA

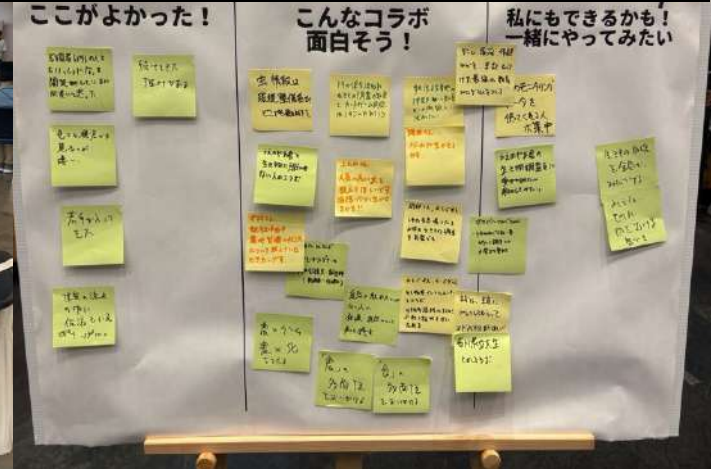
主催：佐渡島自然共生ラボ

協力：環境研究組合推進戦略的研究開発課題(S-21)

「生物多様性と社会経済的変遷の統合評価モデルの開発と社会適用に関する研究」



佐渡島をフィールドに展開する50のプロジェクトを紹介
さまざまな立場のアクターが参集し、相互的に学び合う



日中韓トキ自治体サミット (2025.11.12)



サミット宣言

日本では、中国からの様々なご指導やご支援、韓国との連携など、多くの協力のもと、日本政府、新潟県、佐渡市、そして農家ははじめとする市民との連携の軸によりトキの野生復帰が成功した。2026年には能登地域で本州において初めとなるトキの放鳥が予定されており、私たちが目指す、日本全国、そして中国・韓国において野生下のトキの個体数が増えていく仕組みが大きく前進することとなる。そのためにも、本日参加した各自治体との連携を深め、様々な交流を進めていくことがこの日中韓トキ自治体サミットにより認識されたところである。

私たち、本サミットに参加する日本国・中華人民共和国・大韓民国の地方自治体は、それぞれの地域で積み重ねてきたトキの野生復帰および生物多様性保全への取組事項を共有し、トキとの共生および持続可能な生態環境の創出に向けた三国間の更なる友好関係の構築を目指し、ここに宣言する。

1. 各国地方自治体の取組は、ネイチャーポジティブに関する世界規模での重要な指標であり、国境を越えた努力の成果を共有し、その意義を広く世界へ発信する。

2. トキとの共生、自然環境および生物多様性保全の更なる発展を目指し、パートナーシップをより一層拡大すると共に、安定的に野生下のトキが増加し、定着できるモデル・仕組みづくりを推進する。

2025年11月12日

日中韓トキ自治体サミット

参加自治体一同

写真提供：新潟県佐渡市観光課

日中韓 トキ自治体サミット

1. 各国地方自治体の取組は、ネイチャーポジティブに関する世界規模での重要な指標であり、国境を越えた努力の成果を共有し、その意義を広く世界へ発信する。

2. トキとの共生、自然環境および生物多様性保全の更なる発展を目指し、パートナーシップをより一層拡大すると共に、安定的に野生下のトキが増加し、定着できるモデル・仕組みづくりを推進する。

(日中韓トキ自治体サミット サミット宣言より)



2026年5月31日 本州で初のトキ放鳥（石川県能登地域）



本州最後のトキ捕獲から56年、遂に本州にトキ復活
ネイチャーポジティブをさらに加速させ、「トキと共生する社会」を全国へ！



写真提供:石川県